

2015 年家政学原論部会夏期セミナー

～ご案内～

下記の通り、2015 年家政学原論部会夏期セミナー・総会を開催いたします。
多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

夏期セミナー統一テーマ：

「家政学の未来をつくる」

～家政学原論の知の検証と継承～

日 時：2015 年 8 月 23 日（日）13：30 ～ 24 日（月）16：00

会 場：しいのき迎賓館 3 階セミナールーム B（石川県金沢市広坂 2 丁目 1 番 1 号）

参加費：部会員 3,000 円、学生会員 1,000 円、非会員 4,000 円（事前申込不要）
特別公開公演は無料開放

<趣旨説明>

「家政学原論部会行動計画（2009－2018）」策定以来、夏期セミナーテーマの主題は、「家政学の未来をつくる」としてきた。さらに、毎年夏期セミナーの一部において、その「行動計画」の 4 つのグループを主体とした企画を組んできたが、いよいよ成果をまとめていく段階となってきた。

そこで、2015 年夏期セミナーは、第 3 グループによる家政学原論教育の実態についての研究を中心に、発表と討論を企画している。

また、この 1、2 年は、家政学原論部会にとって大きな功績を残してこられた重鎮を次々と失っていく悲しみの年月でもあった。そこで、シンポジウムでは、鎮魂の意味も込めて、今回のサブタイトルである、「家政学原論の知の検証と継承」と題して重鎮たちの残してこられた軌跡を振り返り、21 世紀に継承していくべき知を改めて確認していくという家政学原論の魂の継承のセミナーともしたいと考えている。

さらに、金沢でのセミナーということで、北陸にゆかりの荒井紀子会員に「私の家政学原論」をお願いしている。4 件の研究発表についても、しっかりと家政学あるいは家政学原論の過去と未来を見定めた問題提起がなされるものと思われる。

2015 年夏期セミナーを機に、「家政学の未来をつくる」議論がさらに円熟味を増し、最終年まで目が離せない状況に展開していくことを願っている。

<プログラム>

8月23日(日)

- 13:00～ 受付
- 13:30 開会の辞・趣旨説明
- 13:40～16:40 行動計画研究グループ研究会・行動計画進捗状況報告会
 - 13:40～15:20 第3グループの報告
 - 15:20～16:20 各グループの打ち合わせ
 - 16:20～16:40 全体討論

8月24日(月)

- 9:00～ 受付
- 9:15～10:00 総会
- 10:00～10:30 わたしの家政学原論(特別公開公演) 福井大学 荒井紀子氏
- 10:30～12:00 研究発表(発表15分、質疑応答5分)
 1. 小野瀬裕子(共立女子大学・非常勤講師)
ホーム・エコノミクス創始者エレン・リチャーズの『共生』と国際連盟初代議長レオン・ブルジョワの『連帯』における生活システム—持続可能な共生社会における中間集団に着目して—
 2. 石渡尊子(桜美林大学)
米国統治下の琉球大学における普及事業—ランド・グラント大学モデルからの変容に着目して—
 3. 大西友恵・谷村千絵(発表者は大西友恵)(鳴門教育大学大学院)
関口富左『家政哲学』の再考—「人間守護」をめぐって—
 4. 表 真美(京都女子大学発達教育学部)
家庭教育・しつけ言説の変遷—家事科・家庭科教科書を中心に—
- 12:00～13:30 昼食
- 13:30～15:45 シンポジウム; 「家政学原論部会先達から学んできたこと」
 - ① 関口富左氏より学んだこと(影山彌氏 代読 正保正恵氏)
 - ② 松島千代野氏より学んだこと(川上雅子氏)
 - ③ 亀高京子氏より学んだこと(上村協子氏)
 - ④ 家政学原論部会の先達から何を学び、引き継ぐのか(八幡(谷口)彩子氏)
- 16:00 閉会の辞 [新部会長]

【問合せ先】

部会事務局メール:

kawakamimasako@kyoritsu-wu.ac.jp

【会場アクセス】

JR金沢駅から
JR金沢駅パスターミナル 兼六園口(東口)
3、6、8、9、10、11番、金沢港口(西口)
5番乗り場よりバスにて「香林坊(アトリオ前)」下車(所要約10分)、徒歩約5分

